

町民文芸

まぐべつ

第11号・1995

止 若市街空襲

特集「私と終戦」より

昭和20年7月14日、アメリカ海軍が帯広と音更を空襲後幕別にも飛来した。

軍需工場であった新田ベニヤ工場はアメリカ軍の標的となり爆弾の投下を受けた。今も工場の壁にはその時の爆撃の跡が残されている。
現在の図書館の東側にも投下された爆弾による穴があり、その直径は約6m、深さは3mにも及び、爪痕を残している。

翌15日にも幕別に飛来したアメリカ軍は札内駅付近に停車避難していた機関車に機銃掃射をあびせ、帝国亜麻工場、幕別国民学校校舎に小型爆弾が投下された。

2日間にわたる空襲によって人々は戦争の恐ろしさを身をもって体験した。

この1ヶ月後、日本は敗戦し終戦を迎えた。